

平成21年主要災害種類別被害概況

災害種類別被害概況

1 4月中旬から下旬にかけての降霜による農作物被害

4月中旬から下旬にかけての降霜により、主に果樹で結実不良、工芸農作物の茶で葉の変色等が発生し、被害面積は4,120ha、被害見込金額は15億6,000万円となった。

(1) 気象概況

4月中旬から下旬にかけて、放射冷却現象や強い寒気が流れ込んだ影響により低温となり、東北、関東・東山を中心として降霜となった。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、果樹が13億7,000万円(被害総額の88%)と最も大きく、次いで工芸農作物が1億400万円(同7%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、青森県が9億5,500万円(被害総額の61%)と最も大きく、次いで長野県が4億1,700万円(同27%)となった。

表1 - 1 被害概況(総括表)

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上					
	ha	ha	t	百万円	%	
総 数	4 120	542	5 560 214 千本	1 560	100	
麦 類	124	-	20	2	0	長野
野 菜	686	9	221	70	4	長野、岩手、福島
果 樹	2 930	444	5 000	1 370	88	青森、長野、岩手
工 芸 農 作 物	352	89	324	104	7	埼玉、東京、長野
桑	1	-	0	0	0	群馬
そ の 他 農 作 物	27	-	214 千本	12	1	長野

注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年(平均)収量の30%以上あった面積をいう(以下の各表において同じ。)

2 その他農作物は、切り花及び種苗・苗木類、球根等である(以下の各表において同じ。)

3 被害量の単位は、切り花及び種苗・苗木類は千本、球根は千球、鉢物類は千鉢、切り葉は千枚、それ以外の作物はtである(以下の各表において同じ。)

4 被害量は枝折れ(果樹)等の状況をもとに算定したものである。

災害種類別被害概況

2 7月以降の日照不足、低温等による農作物被害

7月以降の日照不足、低温等により、水稲ではもみ数の減少や不稔もみの発生、麦類では登熟不良や穂発芽の発生、野菜では着果数の減少や病害の拡大等、農作物全般に被害が発生し、被害面積は211万6,000ha、被害見込金額は1,575億円となった。

(1) 気象概況

7月は、梅雨前線が本州付近に停滞し、北日本から西日本にかけて、曇りや雨の日が多く、日照不足・多雨となった。特に、北日本日本海側及び西日本日本海側の月間日照時間は7月としては最も少ない値となった。また、8月も月を通じて北日本と東日本、西日本日本海側で日照時間が少なかった。

一方、気温は7月に北日本で低く経過し、特に7月下旬は北海道でかなり低くなった。また、8月も北日本ではほぼ月を通して低くなった。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、水陸稲が904億円(被害総額の57%)と最も大きく、次いで野菜が261億円(同17%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、北海道が780億円と最も大きく、被害総額の50%を占める被害となった。

表2 - 1 被害概況(総括表)

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	百万円	%	
総数	2 116 000	106 500	2 456 000 1 120 千本	157 500	100	
水陸稲	1 407 000	17 300	429 800	90 400	57	北海道、宮城、秋田
麦類	97 400	48 900	181 900	19 800	13	北海道
かんしょ	1 870	0	505	68	0	大分、福井、徳島
雑穀・豆類	130 100	23 800	35 600	8 140	5	北海道、秋田、宮城
野菜	107 600	8 340	412 800	26 100	17	北海道、秋田、岐阜
果樹	12 600	142	3 760	1 400	1	岡山、北海道、茨城
工芸農作物	44 900	5 730	429 400	5 170	3	北海道、秋田、宮崎
飼肥料作物	314 000	2 270	962 200	6 370	4	北海道、岩手、青森
その他農作物	43	-	1 120 千本	55	0	北海道、長野、福井

災害種類別被害概況

3 台風第18号による農作物被害

台風第18号により、東海地方を中心に野菜などで茎葉の折損等の被害が発生し、被害面積は4万9,700 ha、被害見込金額は90億5,000万円となった。

(1) 気象概況

台風第18号は、10月8日午前5時頃、知多半島付近に上陸し、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、夕方には太平洋に抜けた。その後、暴風域を保ったまま、北海道の南を北東へ進んだ後、9日午後3時に千島近海で温帯低気圧となった。

(2) 作物別被害

作物別の被害見込金額は、野菜が61億7,000万円(被害総額の68%)と最も大きく、次いで果樹が15億3,000万円(同17%)となった。

(3) 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、愛知県が63億1,000万円と最も大きく、被害総額の70%を占める被害となった。

表3 - 1 被害概況(総括表)

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被害見込金額	構 成 比	主 な 被 害 地 域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	百万円	%	
総 数	49 700	2 260	88 500 6 990 千本 265 千鉢 784 千枚	9 050	100	
水 陸 稲	5 130	5	525	118	1	愛知、兵庫、宮崎
か ん し ょ	824	-	93	4	0	鹿児島
雑 穀 ・ 豆 類	11 800	620	1 650	375	4	茨城、愛知、宮城
野 菜	9 710	1 340	57 700	6 170	68	愛知、茨城、三重
果 樹	11 900	268	8 550	1 530	17	三重、愛知、岩手
工 芸 農 作 物	9 960	-	19 700	404	4	沖縄、鹿児島、福島
飼 肥 料 作 物	157	-	302	2	0	愛知、鹿児島、兵庫
そ の 他 農 作 物	200	32	6 990 千本 265 千鉢 784 千枚	451	5	愛知、和歌山、福島

4 1月から12月までの桜島火山活動における降灰等による農作物被害

平成21年の桜島の噴火回数は755回で、このうち爆発回数は548回だった。

このため、鹿児島県では、降灰等により主に野菜及び果樹で生育不良等の被害が発生し、被害面積は3,880ha、被害見込金額は5,800万円となった。

表4 被害概況（総括表）

区 分	被 害 面 積		被 害 量	被 害 見 込 金 額	構 成 比
	30%以上	30%以下			
	ha	ha	t	百万円	%
総 数	3 880	5	433 1 千本	58	100
麦 類	8	-	0	0	0
雑 穀 ・ 豆 類	28	-	0	0	0
野 菜	983	2	149	23	40
果 樹	490	3	157	33	57
工 芸 農 作 物	1 720	-	7	1	2
飼 肥 料 作 物	651	-	120	1	2
そ の 他 農 作 物	2	-	1 千本	0	0